

## 子どもの学習支援事業の評価指標開発のための調査研究事業 報告書 概要

エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社

### 1. 本事業の目的

平成 28 年度「生活困窮者自立支援のあり方等に関する論点整理のための検討会」において、子どもの学習支援事業の利用による子どもの変容の把握の必要性が指摘されている。全国の自治体では、取組が進められており、平成 26 年度には「生活困窮世帯の子どもの学習支援事業」事例集が作成され、各地域での実践事例がとりまとめられたところである。今後、より取組の効果を高め、普及を推進するためには、子どもの学習支援事業の利用者の変容を継続的に把握し、支援内容の充実化や見直しに活用することが重要である。

そこで本事業では、子どもの学習支援事業が提供する機能を明らかにし、その効果を継続的に把握するための評価指標を開発する調査研究を実施した。

### 2. 調査概要

本業務は、下記に示すとおり、(1) 検討委員会の設置・運営、(2) 子どもの学習支援事業の事例収集、(3) 変容を把握する視点の抽出と整理、(4) 変容を把握する視点の検証と指標化に向けた検討、を実施し、調査結果を報告書にとりまとめた。

#### (1) 検討委員会の設置・運営

生活困窮者自立支援制度および子どもの学習支援事業について知見を有する学識者 4 名、行政担当者 2 名、実務者 2 名の計 8 名により構成する検討委員会を設置し、計 3 回開催し、調査方法・調査結果について検討を行った。

#### (2) 子どもの学習支援事業の事例収集

継続的に子どもの学習支援事業を実施している地域・事業者を対象として、支援の内容、対象、支援による子どもの変容や効果の具体的な内容、把握方法等についてヒアリング調査を行った。対象は、表 1 のとおりである。

表 1 調査対象

自治体名	調査対象	直営・委託
江戸川区	特定非営利活動法人キッズドア	委託
横浜市	特定非営利活動法人教育支援協会南関東	委託
高浜市	特定非営利活動法人アスクネット	委託
岸和田市	社会福祉法人岸和田市社会福祉協議会	委託
福山市	福山市保健福祉局福祉部生活困窮者自立支援センター	直営
	社会福祉法人福山市社会福祉協議会	委託
広島市	広島市健康福祉局地域福祉課保護係	直営

※ヒアリング調査、評価指標の試行、グループヒアリング調査に協力いただいた。

### (3) 変容を把握する視点の抽出と整理

上記(2)の事例調査結果をもとに、子どもの変容を把握する視点の抽出と整理を行った。「子どもの内面の変化」、「子どもの学習面の変化」、「子どもの生活行動の変化」、「子どもの進学に関して」、「家族の変化」といった視点より整理した。

### (4) 変容を把握する視点の検証と指標化に向けた検討

上記(3)で整理した調査結果をもとに、評価指標の案を作成し、ヒアリング調査に協力いただいた自治体・事業者の協力を得て妥当性や有効性を検証し、支援事業の効果を評価するための指標化に向けた検討を行った。評価指標の試行期間は、平成30年2月13日～23日であった。また、評価指標を試行した事業者が一つの会場に集まって議論・検討を行うグループヒアリングは、平成30年2月19日に実施した。

## 3. 調査結果

本調査研究を通じて、この評価指標を用いて子どもの状態や変容を把握することにより、子どもの学習支援事業による支援サービスが、子どもとその保護者に対してどのような良い影響を与えているのかを一定程度把握できることが確認された。また、子どもの学習支援事業を実施している事業者にとっては、子どもの変容を定点的に把握することで、取組の効果や課題を把握し、改善すべき点や次年度の計画を検討するPDCAサイクルをまわすツールとして活用できることが確認された。